diagenode
Innovating Epigenetics Solutions

IDeal ChIP-qPCR Kit

C01010180/C01010181

フライリーフ

編集日: 30.08.2021

部品表

物質名	特定名	個数	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
Protease Inhibitor Mix		1	Flam. Liq. 4 / H227		2 – 13
5% BSA		1			14 – 23
proteinase K		1	Resp. Sens. 1 / H334		24 – 34
rabbit IgG		1			35 – 44
Glycine		1			45 – 54
Shearing buffer iS1b		1	Aquatic Acute 3 / H402		55 – 67
DiaMag protein A-coated magnetic beads		1			68 – 77
wash buffer iW1		1	Aquatic Acute 3 / H402		78 – 90
Wash buffer iW2		1			91 – 102
Wash buffer iW3		1	Aquatic Acute 3 / H402		103 – 115
Wash buffer iW4		1			116 – 125
ChIP-seq grade water		1			126 – 134
Fixation buffer		1			135 – 145
DNA Isolation Buffer (DIB)		1			146 – 155
5x ChIP buffer iC1b		1	Eye Irrit. 2 / H319 STOT SE 2 / H371 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412		156 – 171
Lysis buffer iL1b		1			172 – 181
Lysis Buffer iL2		1			182 – 192
Elution Buffer iE1		1	Eye Irrit. 2 / H319 STOT SE 2 / H371 Aquatic Acute 3 / H402		193 – 205
elution buffer iE2		1			206 – 215

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Protease Inhibitor Mix

バージョン番号: GHS 3.0
次のバージョンの差し替え：: 28.02.2020 (GHS 2)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Protease Inhibitor Mix**

製品コード C12010010/C12010011/C12010012

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
2.6	引火性液体	4	Flam. Liq. 4	H227

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

製品は可燃性であり、潜在的発火源の接触で発火しうる.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 警告
- 絵表示 必要ない
- 危険有害性情報

H227 可燃性液体.

- 注意書き

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙.
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること.
P370+P378 火災の場合：消火するために砂、二酸化炭素または粉末消火器を使用すること.
P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと.
P501 内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Dimethyl sulfoxide	CAS-番号 67-68-5	≤ 100	Flam. Liq. 4 / H227	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

換気が不充分な際、及び／又は換気中は可燃性/引火性空気と蒸気の混合物が発生する可能性. 溶媒蒸気は空気より重い為、床レベルで広がる特性を持っている. 換気が行き渡っていない地下区域、例えば堀、導管やシャフト等では可燃性／引火性物質や混合物が存在する傾向がある.

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること．

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．着火源を避けること．発火源から離して保管－禁煙．静電気放電に対する措置を講ずること．よく換気された場所で使用すること．爆発の危険性のため、蒸気が地下、送気管や水路に流出しないのを防ぐこと．容器を接地しアースを取ること．防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること．火花を発生させない工具を使用すること．

- 特殊な注記／明細

換気が行き渡っていない地下区域、例えば堀、導管やシャフト等では可燃性／引火性物質や混合物が存在する傾向がある．蒸気は空気より重いため、床に近い所で広がり、空気と交わって爆発性混合物を生じる．蒸気は空気と交わると爆発性混合物を生じる可能性がある．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

次のリスクに直面した場合

- 爆発性

器を密閉し、換気された場所で保管．局所及び全体換気を使用すること．涼しいところに置くこと．日光から遮断すること．

- 燃焼危険性

発火源から離して保管ー禁煙．熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙．静電気放電に対する措置を講ずること．日光から遮断すること．

- 換気要求事項

局所及び全体換気を使用すること．容器を接地しアースを取ること．

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	DNEL	484 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー全身的作用
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	DNEL	265 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー局所的作用
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	DNEL	200 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性ー全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	PNEC	17 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	PNEC	1,7 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	PNEC	11 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	PNEC	13,4 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Dimethyl sulfoxide	67-68-5	PNEC	3,02 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気．

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照．当該混合物は反応性物質を含んでいる．発火の危険性.

熱せられた場合:

発火の危険性

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙.

火災や爆発を避けるための手引き

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること．火花を発生させない工具を使用すること．静電気放電に対する措置を講ずること.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない．有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性
皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報

溶剤の回収利用／再生.

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に．当該混合物は反応性物質を含んでいる．発火の危険性．	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照．当該混合物は反応性物質を含んでいる．発火の危険性．	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない．	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし．	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない．	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない．	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない．	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない．	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない．	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない．	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない．	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない．	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない．	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない．	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない．	発がん性: 発がん性として区分に該当しない．	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない．	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない．	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない．	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない．	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない．	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない．	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない．	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない．	該当
12.6	他の有害影響: データなし．	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし．	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない．	該当
12.7	他の有害影響: データなし．	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること．汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること．	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
Flam. Liq.	引火性液体
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H227	可燃性液体.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

5% BSA

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **5% BSA**

製品コード C03020005

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	白黄色

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C03020005	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

proteinase K

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 24.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**proteinase K**
製品コード	C06050001/2

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
3.4R	感作性－呼吸器	1	Resp. Sens. 1	H334

省略の全文：第１６節を参照.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　危険
- 絵表示

GHS08

- 危険有害性情報

H316	軽度の皮膚刺激.
H334	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ.

- 注意書き

P261	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレ ーの吸入を避けること.
P284	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること.
P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること.
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P342+P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること.
P501	内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

- 有害成分の表示 Proteinase, tritirachium album serine

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Proteinase, tritirachium album serine	CAS-番号 39450-01-6	2	Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2 / H319 Resp. Sens. 1A / H334	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 気道刺激の際は医師の診察を受けること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること．

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気．

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用．

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用．EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である．使用前に密封性/不浸透性を確認すること．手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること．特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する．

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること．予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する．取扱後は手をよく洗うこと．

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること．

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること．排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない．有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性 データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号 輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連輸送名 未特定

14.3 輸送時の危険有害性クラス 未特定

14.4 容器等級 未特定

14.5 環境有害性 危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報 適用されない
- 国内規制：海上規制情報 適用されない
- 国内規制：航空規制情報 適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C06050001/2	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
Resp. Sens.	感作性－呼吸器
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H334	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

rabbit IgG

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **rabbit IgG**

製品コード C15410206

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

0.02%アジ化ナトリウムが含まれています 防腐剤として.

アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度←0; 1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.0.02%アジ化ナトリウムが含まれています 防腐剤として.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.0.02%アジ化ナトリウムが含まれています 防腐剤として.アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度←0; 1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Glycine

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Glycine**

製品コード C01019019

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019019	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Shearing buffer iS1b

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**Shearing buffer iS1b**
製品コード	C01019001

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
4.1A	水生環境有害性－短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　警告
- 絵表示　必要ない
- 危険有害性情報

H316　軽度の皮膚刺激.
H402　水生生物に有害.

- 注意書き

P273　環境への放出を避けること.
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P501　内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトン X-100）	CAS-番号 9002-93-1	≤ 2	Acute Tox. 4 / H302 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 1	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度←0.1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．気道刺激の際は医師の診察を受けること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策．

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	1 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C

蒸気密度	この情報は、入手できない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	LC50	29 mg/l	魚	９６h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	ErC50	→120 mg/l	藻類	７２h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	53 mg/l	藻類	７２h

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報

その他の無機物の再生利用／回収利用.

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	未特定
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

- 追加情報

ADN協定対象外.

セーフティーコーン／ブルーライトの数　0

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019001	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.1	国連番号: 輸送規則の要件は適用されない	国連番号: 未特定	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		- 追加情報: ADN協定対象外.	該当
14.7		セーフティーコーン／ブルーライトの数: 0	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
ADN	Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies de navigation intérieures（危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定）
Aquatic Acute	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性ー長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル

略	使用した略語の説明
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.
H370	臓器の障害.

コード	文
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.
H402	水生生物に有害.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

DiaMag protein A-coated magnetic beads

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **DiaMag protein A-coated magnetic beads**

製品コード C03010020

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度<-0; 1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体 (懸濁液)
色	茶色
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
廃棄物処分に関連する情報
その他の無機物の再生利用／回収利用.

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度 <=0; 1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

wash buffer iW1

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**wash buffer iW1**
他の名称	tagW2
製品コード	C01019006

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
4.1A	水生環境有害性－短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　警告
- 絵表示　必要ない
- 危険有害性情報

H316　軽度の皮膚刺激.
H402　水生生物に有害.

- 注意書き

P273　環境への放出を避けること.
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P501　内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトン X-100）	CAS-番号 9002-93-1	≤ 2	Acute Tox. 4 / H302 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 0,1	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度←0.1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．気道刺激の際は医師の診察を受けること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること．

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策．

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	1 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C

蒸気密度	この情報は、入手できない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	LC50	29 mg/l	魚	９６h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	ErC50	→120 mg/l	藻類	７２h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	53 mg/l	藻類	７２h

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	未特定
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

- 追加情報

ADN協定対象外.

セーフティーコーン／ブルーライトの数 0

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		他の名称: tagW2	該当
1.1		製品コード: C01019006	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.1	国連番号: 輸送規則の要件は適用されない	国連番号: 未特定	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		- 追加情報: ADN協定対象外.	該当
14.7		セーフティーコーン／ブルーライトの数: 0	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
ADN	Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies de navigation intérieures（危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定）
Aquatic Acute	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性ー長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）

略	使用した略語の説明
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.

コード	文
H370	臓器の障害.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.
H402	水生生物に有害.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Wash buffer iW2

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**Wash buffer iW2**
製品コード	C01019007

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316

省略の全文：第１６節を参照.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　警告
- 絵表示　必要ない
- 危険有害性情報
  H316　軽度の皮膚刺激.
- 注意書き
  P332+P313　皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトン X-100）	CAS-番号 9002-93-1	≤ 1	Acute Tox. 4 / H302 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 0,1	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度←0.1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．気道刺激の際は医師の診察を受けること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること．

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策．

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	1 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C

蒸気密度	この情報は、入手できない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	未特定
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

- 追加情報

ADN協定対象外.

セーフティーコーン／ブルーライトの数	0

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019007	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.1	国連番号: 輸送規則の要件は適用されない	国連番号: 未特定	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		- 追加情報: ADN協定対象外.	該当
14.7		セーフティーコーン／ブルーライトの数: 0	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
ADN	Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies de navigation intérieures（危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定）
Aquatic Acute	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性ー長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度

略	使用した略語の説明
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.
H370	臓器の障害.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Wash buffer iW3

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**Wash buffer iW3**
製品コード	C01019008

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
4.1A	水生環境有害性－短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　警告
- 絵表示　必要ない
- 危険有害性情報

H316　軽度の皮膚刺激.
H402　水生生物に有害.

- 注意書き

P273　環境への放出を避けること.
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P501　内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Lithium chloride	CAS-番号 7447-41-8	≤ 2	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 5 / H313 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Repr. 2 / H361 STOT SE 2 / H371 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412	
Nonylphenol, ethoxylated	CAS-番号 9016-45-9	≤ 1	Acute Tox. 5 / H303 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Repr. 2 / H361 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 2 / H411	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.
ポリ（オキシエチレン）ノニルフェニルエーテル、CAS No 9016-45-9、濃度<1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 気道刺激の際は医師の診察を受けること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること．

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Lithium chloride	7447-41-8	DNEL	10 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Lithium chloride	7447-41-8	DNEL	30 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－全身的作用
Lithium chloride	7447-41-8	DNEL	73,2 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Lithium chloride	7447-41-8	PNEC	10,4 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Lithium chloride	7447-41-8	PNEC	1,04 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Lithium chloride	7447-41-8	PNEC	140,2 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Lithium chloride	7447-41-8	PNEC	49,9 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Lithium chloride	7447-41-8	PNEC	4,99 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Lithium chloride	7447-41-8	PNEC	4,13 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	1 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C
蒸気密度	この情報は、入手できない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
塩化リチウム	7447-41-8	LC50	158 mg/l	魚	９６h
塩化リチウム	7447-41-8	EC50	249 mg/l	水生無脊椎動物	４８h
塩化リチウム	7447-41-8	ErC50	→400 mg/l	藻類	７２h
ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	9016-45-9	LC50	1,821 mg/l	水生無脊椎動物	４８h
ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	9016-45-9	EC50	20 mg/l	藻類	４８h
ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	9016-45-9	ErC50	50 mg/l	藻類	４８h

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019008	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性ー長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会

略	使用した略語の説明
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Repr.	生殖毒性
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H303	飲み込むと有害のおそれ.
H313	皮膚に接触すると有害のおそれ.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い.
H371	臓器の障害のおそれ.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H402	水生生物に有害.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Wash buffer iW4

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Wash buffer iW4**

製品コード C01019009

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	1 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C
蒸気密度	この情報は、入手できない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019009	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<-0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

ChIP-seq grade water

バージョン番号: GHS 3.0
次のバージョンの差し替え：: 12.01.2021 (GHS 2)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

物質の特定	**ChIP-seq grade water**
CAS-番号	7732-18-5

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該物質は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvBの評価の結果

当該物質の評価の結果、PBT でもvPvBでもない.

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

物質名	ChIP-seq grade water
特定	
CAS-番号	7732-18-5
分子式	H2O
モル質量	18,02 $^{g}/_{mol}$

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, 耐アルコール性泡, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用．EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である．使用前に密封性/不浸透性を確認すること．手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること．特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する．

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること．予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する．取扱後は手をよく洗うこと．

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること．

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること．排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	0 °C
初留点と沸点範囲	100 °C
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない

溶解性

- 水溶解性	あらゆる割合で混ざり合う

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

GHSに基づいた分類

当該物質は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報
その他の無機物の再生利用／回収利用.

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該物質の化学物質安全性評価は実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.3	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50 メール: info@diagenode.com	該当
7.1.3	取扱：安全取扱注意事項		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.2.2	保管：技術的対策		該当
7.2.3	保管：混触禁止物質		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.3	特定の最終用途: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Fixation buffer

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Fixation buffer**

製品コード C01019002

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Sodium 4-(2-hydroxyethyl)piperazin-1-ylethanesulphonate	CAS-番号 75277-39-3	≤2	Acute Tox. 5 / H303	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019002	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H303	飲み込むと有害のおそれ.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

DNA Isolation Buffer (DIB)

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 26.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **DNA Isolation Buffer (DIB)**

製品コード C03050001

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C03050001	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<-0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

DNA Isolation Buffer (DIB)

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 26.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

5x ChIP buffer iC1b

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**5x ChIP buffer iC1b**
製品コード	C01019003

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
3.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	2	Eye Irrit. 2	H319
3.8	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	2	STOT SE 2	H371
4.1A	水生環境有害性－短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402
4.1C	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性	3	Aquatic Chronic 3	H412

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

短期ばく露からの急性影響が予想される. 消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　警告
- 絵表示

GHS07, GHS08

- 危険有害性情報

H316	軽度の皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H371	臓器の障害のおそれ.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

- 注意書き

P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと.
P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと.
P273	環境への放出を避けること.
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること.
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること.
P308+P311	ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する.
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること.
P405	施錠して保管すること.
P501	内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

- 有害成分の表示 Sodium dodecyl sulphate

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトン X-100）	CAS-番号 9002-93-1	≤10	Acute Tox. 4 / H302 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤2	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	
Edetic acid	CAS-番号 60-00-4	≤0,2	Acute Tox. 5 / H303 Eye Irrit. 2B / H320 Repr. 2 / H361 STOT RE 1 / H372 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．気道刺激の際は医師の診察を受けること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと. 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Edetic acid	60-00-4	DNEL	1,5 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用
Edetic acid	60-00-4	DNEL	3 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	2,2 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	0,22 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	43 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	0,72 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用．EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である．使用前に密封性/不浸透性を確認すること．手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること．特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること．予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する．取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護
【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止
環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	1 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C
蒸気密度	この情報は、入手できない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

臓器の障害のおそれ.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

長期継続的影響により水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	LC50	29 mg/l	魚	９６h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	ErC50	→120 mg/l	藻類	７２h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	53 mg/l	藻類	７２h
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	LC50	121 mg/l	魚	９６h
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	EC50	140 mg/l	水生無脊椎動物	４８h

混合物の成分の（慢性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	135 mg/l	微生物	3 h

12.2 残留性及び分解性

混合物の成分の分解性

物質名	CAS-番号	プロセス	分解率	時刻	方法	出典
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	二酸化炭素生成量	95 %	28 d		ECHA

12.3 生体蓄積性

データなし.

混合物の成分の生物蓄積性

物質名	CAS-番号	BCF	log KOW	BOD5/COD
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3		↖-2,03 (20 °C)	
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	1,8		

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号

UN RTDG	UN 3082
IMDGコード	UN 3082
ICAO-TI	UN 3082

14.2 国連輸送名

UN RTDG	環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの
IMDGコード	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
ICAO-TI	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.
専門名 (危険有害性成分)	ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトンX-100）

14.3 輸送時の危険有害性クラス

UN RTDG	9
IMDGコード	9
ICAO-TI	9

14.4 容器等級

UN RTDG	III
IMDGコード	III
ICAO-TI	III

14.5 環境有害性

水生環境有害性

環境有害物質（水生環境）　ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトンX-100）

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

国連番号	3082
クラス	9
環境有害性	該当 (水生環境有害性)
容器等級	III
警告表示ラベル	9, 魚及び木

特別規定 (SP)	274, 331, 335, 375 (UN RTDG)
適用除外 (EQ)	E1 (UN RTDG)
少量危険物 (LQ)	5 L (UN RTDG)

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

海洋汚染物質	該当 (水生環境有害性) (Triton X-100)
警告表示ラベル	9, 魚及び木

特別規定 (SP)	274, 335, 969
適用除外 (EQ)	E1
少量危険物 (LQ)	5 L
EmS	F-A, S-F
積み込みカテゴリー	A

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

環境有害性	該当 (水生環境有害性)
警告表示ラベル	9, 魚及び木

特別規定 (SP)	A97, A158, A197
適用除外 (EQ)	E1
少量危険物 (LQ)	30 kg

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019003	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	- 輸送容器の適合性: 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと. 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.1	国連番号: 3082	国連番号	該当
14.1		UN RTDG: UN 3082	該当
14.1		IMDGコード: UN 3082	該当
14.1		ICAO-TI: UN 3082	該当
14.2	国連出荷名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの	国連輸送名	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.2		UN RTDG: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの	該当
14.2		IMDGコード: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.	該当
14.2		ICAO-TI: Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.	該当
14.3	クラス: 9 (環境有害性)		該当
14.3		UN RTDG: 9	該当
14.3		IMDGコード: 9	該当
14.3		ICAO-TI: 9	該当
14.4	容器等級: III (少々危険な物資)	容器等級	該当
14.4		UN RTDG: III	該当
14.4		IMDGコード: III	該当
14.4		ICAO-TI: III	該当
14.7	正式輸送品名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの		該当
14.7	国連番号: 3082		該当
14.7	正式輸送品名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの		該当
14.7	クラス: 9		該当
14.7	容器等級: III		該当
14.7	海洋汚染物質: 該当 (水生環境有害性)	海洋汚染物質: 該当 (水生環境有害性) (Triton X-100)	該当
14.7	国連番号: 3082		該当
14.7	正式輸送品名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの		該当
14.7	クラス: 9		該当
14.7	容器等級: III		該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性－短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性
BCF	生物濃縮係数
BOD	生物化学的酸素要求量
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
COD	化学的酸素要求量
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
EmS	救急スケジュール
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会

略	使用した略語の説明
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
ICAO-TI	危険物の航空安全輸送に係る技術指針
IMDG	国際海上危険物規則
IMDGコード	国際海上危険物規程
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
log KOW	n-オクタノール／水
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Repr.	生殖毒性
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H303	飲み込むと有害のおそれ.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.
H320	眼刺激.
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い.
H370	臓器の障害.

コード	文
H371	臓器の障害のおそれ.
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.
H402	水生生物に有害.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Lysis buffer iL1b

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Lysis buffer iL1b**

製品コード C01019004

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.
ポリ（オキシエチレン）ノニルフェニルエーテル、CAS No 9016-45-9、濃度<1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019004	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<-0.1%. ポリ（オキシエチレン）ノニルフェニルエーテル、CAS No 9016-45-9、濃度<-1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Lysis Buffer iL2

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Lysis Buffer iL2**

製品コード C01019012

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Sodium 4-(2-hydroxyethyl)piperazin-1-ylethanesulphonate	CAS-番号 75277-39-3	≤2	Acute Tox. 5 / H303	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照．個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019012	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H303	飲み込むと有害のおそれ.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Elution Buffer iE1

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**Elution Buffer iE1**
製品コード	C01019014

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
3.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	2	Eye Irrit. 2	H319
3.8	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	2	STOT SE 2	H371
4.1A	水生環境有害性－短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

短期ばく露からの急性影響が予想される. 消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語　警告
- 絵表示

GHS07, GHS08

- 危険有害性情報

H316	軽度の皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H371	臓器の障害のおそれ.
H402	水生生物に有害.

- 注意書き

P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと.
P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと.
P273	環境への放出を避けること.
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること.
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること.
P308+P311	ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する.
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること.
P405	施錠して保管すること.
P501	内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

- 有害成分の表示 Sodium dodecyl sulphate

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 2	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 気道刺激の際は医師の診察を受けること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること．

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照．

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策．

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない．有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

臓器の障害のおそれ.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	LC50	29 mg/l	魚	９６h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	ErC50	→120 mg/l	藻類	７２h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	53 mg/l	藻類	７２h

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報

その他の無機物の再生利用／回収利用.

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号

輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連輸送名

非該当

14.3 輸送時の危険有害性クラス

未特定

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019014	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない．犠牲者を危険区域から移動させる．犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．	一般的な備考: 被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策．	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照．	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと．	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に．	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照．	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない．	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし．	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない．	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない．	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない．	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない．	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない．	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない．	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない．	発がん性: 発がん性として区分に該当しない．	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない．	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない．	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない．	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない．	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない．	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない．	該当
12.6	他の有害影響: データなし．	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし．	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない．	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規則(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格．JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告．国際海上危険物規定(IMDG)．国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報．SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性ー長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す

略	使用した略語の説明
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート （ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.
H370	臓器の障害.
H371	臓器の障害のおそれ.

コード	文
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H402	水生生物に有害.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

elution buffer iE2

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 23.12.2019 (GHS 1)

改訂日: 31.05.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **elution buffer iE2**

製品コード C01019010

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用．EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である．使用前に密封性/不浸透性を確認すること．手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること．特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する．

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること．予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する．取扱後は手をよく洗うこと．

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること．

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること．排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の

粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし

臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

	自動着火温度	測定できない
	分解温度	データがない
	粘度	測定できない
	爆発性	なし
	酸化性	なし
9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
廃棄物処分に関連する情報
その他の無機物の再生利用／回収利用.

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	非該当
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019010	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.2	国連出荷名: 未特定	国連輸送名: 非該当	該当
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 未特定	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.